

- P2 経営支援レポート  
元気印 ズームアップ
- P4 年頭あいさつ
- P5 青年部・女性部だより
- P6 令和2年度商工会福島県大会
- P8 掲示板

# ニュースクリップ News Clip

あ き ひと しょう こう にん  
商きない工らす人びと **ふくしま商・工・人**

2021.1.1  
Vol. 391



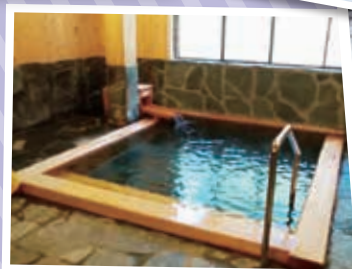
P2に掲載

伝統の味を継承しつつ  
福島の野菜と果物で新商品開発  
いわき市好間町・有限会社 長久保食品



P3に掲載

「ピンチをチャンスに」  
度重なる災害からの再建  
岩瀬郡天栄村・柏屋旅館



元気印

経営支援レポート

ズーム

アツブ

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

県中・県南 天栄村商工会

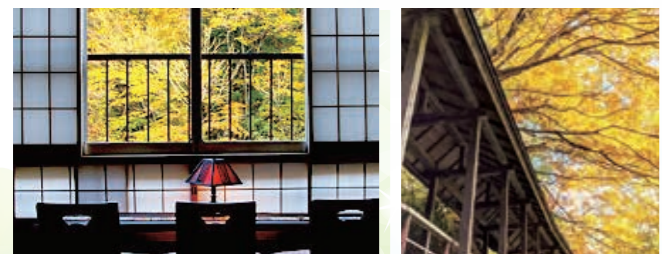
「ピンチをチャンスに」 度重なる災害からの再建



柏屋旅館 代表 桑名 裕昌氏

住所 〒962-0621 岩瀬郡天栄村湯本字下二俣22-6
連絡先 TEL 0248-84-2316 FAX 0248-84-2577
URL https://kashiwayaryokan.com/
Twitter https://twitter.com/yurumonkasiwaya (@yurumonkasiwaya)

【事業所紹介】 会津地方と中通り地方の境界に位置している二岐温泉郷は春には山菜取り、夏場は渓流釣りや登山、秋は紅葉、冬はスキーと、様々なアクティビティがあり、様々な世代のお客様が訪れています。開湯から1200年以上の歴史がある二岐温泉郷にて旅館を営む当館は、明治37年に創業した温泉旅館で、リュウマチ、胃腸病、皮膚病などに効果があるといわれています。特に足元から直接湧き出る「自噴泉」の巖風呂は全国的にも珍しく、またそこへ行くための回廊も「写真映えがする」と人気があります。



料理は地元でとれる山の幸、川魚を中心とした「ここでしか食べられない、ここならではの料理」を提供しており、インターネットの旅行予約サイトの口コミには、「ごはんがおいしい」といった書き込みも多く寄せられ、非常に高い評価をいただいています。普段の生活からかけ離れた、想像以上の大自然の中で、街の喧騒を忘れてゆったり過ごせることから、50代から70代の夫婦のお客様に特に多くご宿泊いただいております。

【度重なる災害からの再建】 東日本大震災から9年以上が経過し、原発事故の風評被害も薄れてきた矢先、令和元年の台風19号による水害で、当館名物の川沿いの露天風呂が濁流にのまれました。修繕計画をしている最中に、新型コロナウイルス感染症が発生し、ますます経営が厳しいものとなりました。

これらの再建にあたっては商工会と相談し、設備の改修整備計画とウイズコロナ時代に合った販路拡大計画を立てたうえで行いました。結果、再建した露天風呂の貸切による高付加価値化と感染の予防、GoToトラベル事業がうまくかみ合い、秋～冬にかけて週末はほぼ予約で埋まるようになってきました。

また、以前からの課題であったSNSの活用について、専門家を交えて勉強し、お客様が欲しい情報はどのようなものかを考えて継続して投稿を行うことで、それを見て予約をしてくださるお客様、リピーターも増えてきました。

【商工会の支援内容】 「商工会との関わり方がよくわからない」最初に挨拶を交わした際に言われた一言でした。その後、情報提供等を通して少しずつ経営についてお話をするようになり、災害もあって今後の経営計画や再建に係る補助事業申請や実行支援等が実際に始まりました。災害型の持続化補助金を活用するなど自己負担をなるべく出さないよう支援を行いました。また村の新型コロナに関する手厚い補助制度もフル活用。課題であった販路開拓については岩瀬管内商工会広域連携協議会の伴走型小規模事業者支援推進事業によるIT支援においてSNS活用の専門家派遣を継続的に行うなど、事業計画のもとに事業主により沿った支援を行っています。

【今後の目標】 今後は、より健康に配慮したメニューの開発を行うなど、プランを充実させながら、SNS活用によるお客様への情報提供を行っていくことで、お客様を飽きさせず、また当館へ足を運んでくれるように頑張っていきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症がまだまだ不安ですが、来ていただいたお客様には少しでも日常を忘れ、ゆったりとした時間の中で美味しいごはんと良い温泉でリラックスしてもらいたいと思います。是非一度お越しください。



浜通り 好間町商工会

伝統の味を継承しつつ 福島の野菜と果物で新商品開発



有限会社 長久保食品 代表 篠原 福一氏

【本社】 住所 〒970-1152 いわき市好間町中好間字鍛冶内28番地の2
連絡先 TEL 0246-36-3999
営業時間 8:30~17:00
定休日 土、日、祝日
URL https://www.nagakubo.net/

【直営店 鹿島店】 住所 〒971-8133 いわき市鹿島町米田字南内4の1
連絡先 TEL 0246-29-6600
営業時間 10:00~18:00
営業日 月-日曜日

【事業所紹介】 いわき市好間町にて昭和9年より、漬物製造業を営んでおります。いわき市のほぼ中央に位置する好間町は、かつて炭鉱で栄えた町です。過酷な労働のため「漬物」は毎日の食卓に欠かせないものでした。

現在、弊社では30種類の漬物を取り揃えております。代表商品の「長久保のしそ巻」は



地元のみならず、市、県外の消費者の方々に長年ご愛顧いただいております。

2011年3月の東日本大震災では工場が被災、原子力災害により取引中止が相次ぎました。「商品」とは、「会社」とは、「地域」とは何かを深く考える時間を得たことを機に、創業者が80余年前にいわきの地に撒いた「長久保のしそ巻」という種を絶やすことなく、これからも大切に育てていこうと決意しました。そして、商品が輝けるよう「長久保食品」らしさを打ち出し、新しい商品開発にも力を注いでまいりました。

その結果、漬物製造のノウハウを活かし、野菜と果物でつくったピクルス「おこさん」を商品化することができ、新しい販路の入り口を見つけることができました。原材料はいわき市産、福島県産の野菜や果物を使い、出汁や白ワインをベースにしたやさしい酸味となっております。素材とともに旨みが入った漬け汁まで丸ごと味わい尽くせるのが商品の特徴です。

【商工会の支援内容】 新商品開発はできたものの、量産に向けた生産能力が課題となり、商工会から「ものづくり補助金」を活用しての設備導入を勧められ申請することになりました。複数回の打ち合わせをおこない申請書のブラッシュアップを繰り返し、申請書の提出から実績報告まで多大なるご支援をいただきました。そして無事に設備を導入し生産体制を整えることができました。

また、漬物の販売ルートとは需要先が異なり思わぬところで苦戦を強いられましたが、販売計画を策定することにより商品に対する顧客対象が絞られ、目標が定まり商談会へ臨むことができました。今後の事業展開に大きな手応えを感じているところです。

復興半ばで台風災害に見舞われた時は肩を落しましたが、被災事業者支援施策を案内・支援いただき有効に活用することができたため、早期復旧することができました。

【今後の目標】 日本の食文化は多様化しており、常に需要の変化に対応しつづける必要があります。しかしながら、伝統である手作りの漬物「長久保のしそ巻」を大切に継承しながら、一方で新商品「おこさん」の様な新たな漬物を世に広め、これからも世代を問わず皆様に喜んでいただけるような商品を提供してまいりたいと考えております。



# 青年部 だより



福島県商工会青年部連合会主催の「ふくしまいいモノビレッジ リアル版」が令和2年10月24日(土)いわき市小名浜のアクアマリンパークにて開催され、県内外から約3,500人の来場者がお越しになりました。

始まりは、令和2年5月、新型コロナウイルス感染症拡大により消費の急激な落ち込みが発生した事業所を支援するために、SNSを使って事業所のテイクアウト情報、お得な情報またはイベント情報などの情報を発信するFacebookページ「ふくしまいいモノビレッジ」を開設しました。ページで紹介している約100店舗から希望者を募り、40店舗の飲食店や小物店、商談ブースや体験コーナーなどの出店がされました。当日は感染症対策のため、食品はテイクアウトのみとし来場者には検温や手指消毒、また、連絡先等の記入をお願いしました。



# 女性部 だより

## 大人の本気のラジオ体操

令和2年10月28日、県中地区商工会女性部連絡協議会事業当日、前日までの悪天候がまるで嘘のように参加していただいた県中女性部員33名的美魔女パワーで快晴になりました。



ダイエットインストラクター美人講師の湯座聖美先生に、ラジオ体操が体のどの部分のどの筋肉を使っているのか説明を聞きながら確認し動かしてみました。小学生の時に体育の授業で何気なくやっていた間違いに気づかされました。ラジオ体操は体のストレッチがしっかりできて、運動不足の解消にも役立つことを実感いたしました。

今年はコロナ禍の中、外で体を動かす機会が減っていたこともあり、とても良い時間になりました。ソーシャルディスタンスを保つため、ドーム型の屋外施設で行い、例年より事業の参加人数を半分にして行いました。参加した皆様が生き生きと若返り、より美しい笑顔で帰っていく姿が印象的な事業になりました。

執筆者: 玉川村商工会 女性部長 鈴木真理子

# 地元企業と地域に心から頼られる専門集団として

福島県商工会連合会 会長 轡田 倉治



令和三年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。  
会員並びに役員の方々の皆様には、日頃から地域経済の発展と地域振興の原動力となつて、「活躍をいただいておりますこと」に、心から敬意を表しますとともに、「厚くお礼申し上げます」。

さて、本県は、東日本大震災から十年を迎えようとする今でも、風評被害は根強く残っており、過疎化や人口減少による消費の縮小、経営者の高齢化、後継者難などの課題も直視しております。さらに、消費税の引き上げや異常気象による自然災害の頻発に加え、新型コロナウイルス感染症拡大により、会員事業者の経営環境は、かつてなく厳しい状況にあります。

こうした中、昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、先ず会員事業者の資金繰り対策の相談窓口としての支援強化、従業員の雇用維持のための助成金申請支援、緊急事態宣言が全国に拡大されたことを受けての国・県・市町村からの給付金、協賛金、支援金等の申請支援に取り組むとともに、事業継続に関する要望活動を行うなど、会員事業者に寄り添った経営支援を強化し、心から頼られる商工会として、ふくしまの商工業の再生を目指して各般の事業に取り組んでまいりました。特に、インバウンド需要が見込めないコロナ禍で、地産地消を新たな視点で需要喚起させる「がんばる地元」の飲食店応援券(前払利用券)発行事業、新しい生活様式に対応した前向きな取り組みを支援する小規模事業者持続化補助金等の積極的な活用を提案し、販路開拓

支援を実施しました。また十月には、商工会法施行六十周年記念令和二年商工大会福島県大会を開催し、小規模事業者支援機関としての役割を担う地域総合経済団体として、(一)原子力災害及び自然災害の克服と県内産業の復興・再生に向けた支援強化、(二)中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化、(三)商工会による経営支援体制の機能強化を国や地方自治体に求める大会決議を採択するとともに、地元企業と地域に心から頼られる専門集団を目指す「商工会進化宣言」を発出しました。

新年は、引き続き自然災害に係る復旧・復興、第二期復興・創生、風評払拭、ウィズコロナ対策に取り組む、中小企業・小規模事業者に寄り添った地域密着の支援機関として、より「層々細かな伴走型支援」を実践していかなければならないと考えております。そのため、二〇一九年に策定した新商工会アクションプランをブラッシュアップさせながら、「商工会は、行きます!聞きます!提案します!」(会員満足向上運動)の積み重ねはもとより、会員の皆様のニーズに応えられるよう、職員一人ひとりが支援能力の向上に努め、中小企業・小規模事業者の持続的発展を支えてまいります。

こうした厳しい時こそ、地域の絆を互いに大切に励まし合って前進することが大切だと考えています。八十八商工会と県連が丸となり、商工業者の経営安定と健全な地域社会の維持発展のため、全力で取り組んでまいりますので、引き続き皆様方の「一層のご理解・協力」と「支援」をお願い申し上げます。結び、会員の皆様並びに関係各位にとりまして今年が明るい一年となりますよう、心より「ご祈念申し上げ年頭のごあいさつ」といたします。

# 新たな復興・創生のステージへ

福島県知事 内堀 雅雄



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。  
震災から間もなく十年の節目を迎えようとしております。この間、県民の皆様懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、福島県は着実に復興への歩みを進めてまいりました。

昨年、双葉町、大熊町、富岡町の帰還困難区域の一部地域で避難指示が解除されたほか、JR常磐線の全線再開、福島ロボットテストフィールドの全面開所、県産農産物の輸出実績が三年連続で過去最高を更新するなど、明るい話題も数多くありました。

そのような中、新型コロナウイルス感染症が世界各国で急速に拡大し、私たちの生活は、変ることとなりました。  
そのため、県といたしましては、引き続き、喫緊の課題である新型コロナウイルス対策はもとより、震災と原発事故からの復興・再生、令和元年東日本台風等災害からの復旧、地方創生・人口減少対策などに全力で取り組んでまいります。

まず、新型コロナウイルス対策につきましては、ウィズコロナにおける感染拡大の防止と社会・経済の再生を両輪で進めていくとともに、感染者への差別や誹謗中傷の防止に力を尽くしてまいります。  
次に、避難地域の復興・再生につきましては、今年四月から第二期復興・創生期間がスタートします。福島県の復興を更に前へ進めるため、引き続き、廃炉・汚染水対策を始め、被災者の生活再建と産業の再生、各拠点施設の活用による産業の振興、

営農再開の加速化、風評・風化対策の強化などにしっかりと取り組んでまいります。

また、令和元年東日本台風等災害からの早期復旧に努めるとともに、災害を教訓とした市町村等との情報共有体制の構築、「イ避難」など命を守るための避難行動の促進を図り、災害に強い県づくりを進めてまいります。

さらに、人口減少対策につきましては、結婚出産から子育てまで切れ目のない支援の充実を始め、子育て世代や若者の雇用場の確保するための新産業の育成などに取り組んでまいります。また、新型コロナウイルスを機に地方への関心が高まり、移住、二地域居住がこれまで以上に注目されています。本県が持つ「移住先としての魅力」を積極的に発信するなど、本県の強みをいかした「福島ならではの地方創生を進めてまいります」。

今年七月には、新型コロナウイルスの影響で延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。これまで国内外から頂いた多くの御支援に対する感謝の思いと、復興が進んでいる福島県の姿と魅力を広く発信するとともに、開催に当たっては、感染防止対策を徹底し、選手の皆様を始め、福島を訪れる多くの皆様にとりて安全・安心な大会となるよう準備を進めてまいります。

ウィズコロナの状況においても、常に危機感とスピード感を持ち、これまで積み重ねてきた取組を不断に見直し、最大限の効果を発揮するために、何が必要なのかを常に意識しながら、この難局を乗り越え、福島県の新しい未来を形作るための挑戦を続けてまいります。今後とも、一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。新年の御挨拶といたします。

# 商工会法施行六十周年記念

# 令和二年度 商工会福島県大会

## 地元企業と地域に心から頼られる専門集団として、商工会進化宣言

商工会法施行六十周年記念 令和二年度商工会福島県大会が、渡邊東北経済産業局長、内堀福島県知事、太田福島県議会議長、木幡福島市長、森全国連会会長をはじめ国會議員、県議會議員、市長村関係者等の来賓を迎え、十月二十六日、福島市「とうほう・みんなの文化センター」で開催された。

今大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して参加者全員の検温、手指消毒等を実施しながら、商工会員、青年部・女性部員等約七百名の参加と、インターネットによる同時配信を行い、各表彰の授与、商工会進化宣言の発表、及び県内産業の復興・再生に向けた支援強化を国や地方自治体に求める大会決議を採択した。



大会挨拶 榎田会長

榎田県連会長が挨拶で、「近年の台風や暖冬などの自然災害が続き、今の新型コロナウイルスの新しい経済状況においては、終息の見えない経済への影響が続いており、多くの事業者が、かつてなく厳しい経営状況にある。商工会は地域密着型の支援組織として、地域経済を支える中小企業・小規模事業者寄り添った伴走型支援を柱に、経営改善普及事業を展開するとともに、新たな国・県の施策推進や

地域と連携した事業を積極的に実施し、健全な地域社会の維持発展のため全力で取り組む。」と述べた。

続いて、役員、青年部・女性部功労者等及び職員表彰及び感謝状の贈呈が行われた。

来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露が行われた後、渡邊県青連会長、二瓶県女性連会長、帆刈職員協議会副会長より、商工会進化宣言が発表された。

続いて、大会意見表明の三項目を、榎田副会長、渋谷理事、三浦理事がそれぞれ力強く意見表明され、高橋副会長が大会決議を行い、満場一致で承認された。

### 大会決議

- 一、原子力災害及び自然災害の克服と県内産業の復興・再生に向けた支援強化
  - 1 事業再建・自立に向けた各種支援策の継続と充実強化
  - 2 原発事故損害賠償の確実かつ完全な実施
  - 3 東京電力福島第一原発事故の処理水問題への早急な対応
  - 4 風評被害払拭に向けた取組みの強化
  - 5 第二期復興・創生期間の支援及び財源確保
  - 6 自然災害からの復旧・復興の更なる推進と加速化
- 二、中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化
  - 1 コロナウイルス感染症対策の支援の拡充強化と継続
  - 2 円滑な事業承継や創業・起業に対する支援の強化
  - 3 中小企業・小規模事業者の人材確保・育成・定着を支援する施策の継続強化
- 三、商工会による経営支援体制の機能強化
  - 1 商工会の支援人員拡充と事務局長設置要件の緩和
  - 2 商工会IT化整備事業費の創設
  - 3 商工会館の防災強化及び修繕費用補助の創設
  - 4 国への復興事業継続の後押しと避難地域商工会への支援強化
  - 5 テレワークを活用した企業と人の移転誘致促進
  - 6 県内産農林水産物を活用した農商工連携と六次産業化支援並びに県内食品産業支援の充実



意見表明 渋谷理事

意見表明 榎田副会長

議長 渡邊副会長

閉会 佐藤副会長

大会決議 高橋副会長

意見表明 三浦理事

令和二年度 秋の叙勲  
晴れの栄誉に輝かれたことを  
お祝い申し上げます。

旭日単光堂 菅野 幸治様  
H27～H29：県連理事  
H21～H29：大越町商工会長

### 東北経済産業局長表彰

役員等功労者  
古橋 博(埴町商工会会長)他四名  
原瀬忠弘(あだたら商工会事務局長)他八名  
齋藤仁志(国見町商工会青年部)  
佐藤順子(只見町商工会女性部)  
三和町商工会青年部  
玉川村商工会女性部

### 福島県知事感謝状

感謝状受彰者  
井出 茂(川内村商工会会長)他二十三名

### 県連会長表彰

役員等功労者  
赤羽 隆(長沼商工会会長)他六十五名  
菅野昭則(川俣町商工会青年部長)他三十二名  
影山いみ子(熱海町商工会女性部長)他三十八名  
加藤宏美(きたかた商工会経営指導員)他十二名

祝辞 内堀 福島県知事  
祝辞 渡邊 東北経済産業局長  
閉会 渡部副会長  
祝辞 木幡 福島市長  
祝辞 森 全国商工会連合会長  
祝辞 太田 福島県議会議長



商工会進化宣言  
(右：渡邊県青連会長、中：帆刈職員協議会副会長、左：二瓶県女性連会長)

全国初!!

事業承継について考えてみませんか？

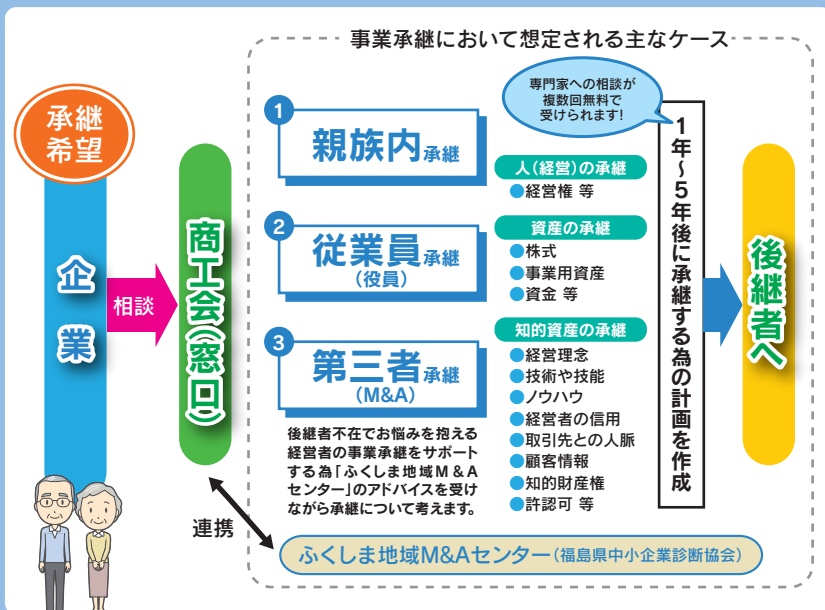
# 西白河郡南部地区商工会事業承継センター 設立

〈西郷村商工会・表郷商工会・ひがし商工会・大信商工会〉

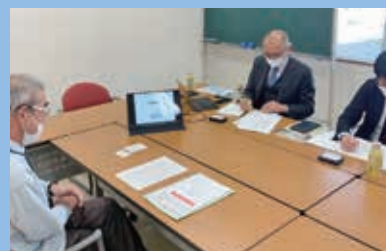
令和2年9月、西白河郡南部地区商工会広域連携協議会が広域連携組織としては全国で初めて、事業承継を推進する事業承継センターを設立しました！

また事業推進に関して福島県中小企業診断協会と業務提携を締結し事業承継を応援します。

## 〈事業承継の応援スキーム〉



業務提携調印式の様子



個別相談会の様子

少子高齢化・コロナ禍の影響もあり事業承継は我が国の社会問題となりつつある課題です。

当承継センター管内で事業をされる方へ、上記商工会が窓口となり福島県中小企業診断協会と連携して事業承継計画の策定支援を行います！



詳しくはQRコード読み取り若しくはWEB検索をお願いいたします。

検索

西白河郡南部地区商工会事業承継センター

URL <https://r.goope.jp/bs-manda-center>

# INPIT 福島県知財総合支援窓口

知財のことならご相談ください  
(相談・支援は無料です)

特許

TEL 024-963-0242

商標

意匠

一般社団法人福島県発明協会

著作権



News Clipは循環型社会の現実を目指して、環境に配慮した植物油インキと再生紙を使用しています。